

## 令和7年度協働のまちづくりチャレンジ事業 中間活動報告

記入日 : 令和7年11月25日

団体名	NPO法人みんなの畑の会	担当者氏名	西田敏明
-----	--------------	-------	------

イベント名	第2回 金沢・竹灯ろう祭り
実施期間	2025年10月18日(土)
場 所	四十万きずな広場
参加人数	約1000名
イベント内容 (簡潔に)	能登の「鎮魂と復興と世界平和を祈って」2000基の竹灯ろうを来場者と共に一斉点灯を行い、人と自然の環境を守る地域協働のお祭りとして開催致しました。
事業を実施したことによる効果（参加者の感想など）	<p>『鎮魂と復興と世界平和を願って』のタイトルで金沢竹灯ろう祭りを開催していますが、遅ればせながら能登の復興は少しずつ進んでいきます。NPO法人みんなの畑の会は『私たちは 子供たちに 美しい地球を 引き渡す義務がある。なぜなら 私たちが美しい地球を 先人から引き継いだから』・・・を理念に、気候変動・自然災害・感染症・貧困と紛争、これまでにない多くの課題に直面している今、豊麗者の“知恵の伝承”と、若者の“新しい知識の融合”で世代を交えた「思いやり」「気配り」「勿体ない」「向こう三軒両隣」の助け合い文化の日本版【SDGs】を次世代に繋ぐ活動をしています。・・・一人では出来ない事も みんなでやれば その先が見えてきます・・・</p> <p>人と自然の環境を守ることを目的に、9年前任意団体みんなの畑の会を設立し、趣旨に賛同いただき4年前「産官学民」の皆さんの参加で法人化致しましたが、昨今クマやイノシシなど不幸な事故も起きています。高齢化・後継者不足により全国で放置竹林が拡がり、当地もその危険が増してきています。山に棲む動物と人間が、より安全安心して棲み分けできる環境づくりは、高齢化・後継者不足の地権者と行政だけでは出来ません。“みんな”の繋がり、より良い社会を子供たちに渡せることが目的のNPO法人みんなの畑の会は、地域の皆さんと協働で、より良い社会環境を次世代に繋ぐために【金沢竹灯ろう祭り】が未来に繋がっていくものと期待しています。毎年少しずつ、竹の切り出しから、竹灯ろうの作成・運営・片づけの、人の『輪と和』が拡がって行くものと確信しています。</p>

／金沢市まちづくりチャレンジ事業 団体連携部門採択事業／



第2回

# 金沢・竹灯ろう祭り

～能登の鎮魂と復興、世界平和を祈念して～

2025年10月18日(土)

14:00 - 20:00

\*予備日 10月19日(日)



最新情報は  
こちら

2,000基  
の竹灯り

四十万きずな広場 金沢市四十万町北ヌ

\*車でお越しの際は裏面地図を参照ください

点灯ボランティア募集!

## 出演

志賀天友太鼓  
アントニオ・カマケ (パルー音楽)  
シンガーソングライター おだ ともあき

女川踊り流し / 女川に菜の花油の  
灯をともす会

うさぎ会 (篠笛)  
エレクーン大好き はるきん  
Melody Knot Quartet (JAZZ)  
笑いヨガ / 山外 政枝  
ジャグリング百万石

共同主催 金沢国際ホテル  
額中学校 PTA 額小学校 PTA  
四十万小学校育友会  
四十万きずな町会 しじま台町会  
額谷町会  
NPO 法人39アース  
NPO 法人みんなの畑の会



後援 石川県 金沢市  
北國新聞 北陸中日新聞

お問合せ NPO 法人みんなの畑の会 minnanohatake.nishida@gmail.com



志賀天友太鼓



おだ ともあき



アントニオ・カマケ



17時15分 点灯

\*17時に会場へ集合



キリトリ線 ✂  
お楽しみ抽選券  
当日17時30分までに  
要付へ持参ください  
No. \_\_\_\_\_

## タイムテーブル

- 14:00 開会挨拶
- 14:30 音楽ステージ開始
- 17:00 来賓挨拶
- 17:15 竹灯ろう点灯宣言
- 17:30 音楽ステージ再開
- 20:00 閉会式



## マルシェ

- ・能登復興市 \*金沢大学ポラさぼ
- ・編みぐるみ小物販売
- ・和紙タオル販売 \* 糺オリケン
- ・ハンドメイド小物
- ・フェイクパフェづくり
- ・焼き菓子販売
- ・野菜、加工品販売
- ・「ツナグ」メンマ販売

## 竹のワークショップ



竹灯ろう  
竹笛  
竹のお猪口



竹で遊んでみよう!

- ◆ 水鉄砲で的に当てよう!
- ◆ 竹に 10 秒乗れるかな?



キッチンカーが多数やってくる!



私たちは子供たちに美しい地球を引き渡す義務がある  
なぜなら私たちが美しい地球を先人から引き継いだから

その思いから 10 年前 NPO 法人みんなの畑の会を設立しました。高齢化や後継者不足で増える放置竹林の整備活動を行い、金沢工業大学や石川県立大学と連携して獣害対策や環境保全に取り組んでいます。

竹林整備で伐採した竹は、農業用「竹ハウス」「竹ドーム」、土壌改良材の「ポラス竹炭」「竹パウダー」などに再利用し、全国への普及を進めています。

また、能登半島地震後には『能登支援物資センター』を立ち上げ延べ 45,000 人の被災者と交流し支援してきました。

第 2 回竹灯ろう祭りでは、能登の鎮魂と復興・世界平和を願い開催します。まつり使用後の竹は竹炭として再利用します。

みんなの畑の会は、石川県・金沢市の協力のもと、次世代へ環境をつなぐ活動を続けています。



竹ドーム



竹林整備作業風景 2025 年7月



- ① インディアンカレー額谷店
- ② 国際ホテル(送迎バスあり)
- ③ 額中学校
- ④ 額公民館
- ⑤ みんなのお店

